



5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
調理の種類と献立	食物調理1級検定取得に向けて 供応食（日本料理）の特徴 実習1（日本料理） 実習2（日本料理） 実習3（日本料理） 実習4（日本料理）	・日本料理について、応用的な料理の技法と献立作成について理解し、実習を通して目的や条件に応じた調理ができる。
調理の種類と献立	供応食（西洋料理）の特徴 実習5（西洋料理） 実習6（西洋料理） 実習7（西洋料理） 特別実習（外部講師による）	・西洋料理について、応用的な料理の技法と献立作成について理解し、実習を通して目的や条件に応じた調理ができる。  ・専門家の技術を見て学び、実際に体験することで調理技術向上を目指すことができる。
1 学期期末試験		
調理の基本	調理と食味 食味の種類 味覚の変動	・人は、色・味・香り・テクスチャーなどによっておいしさが評価されることを理解する。
調理の種類と献立	供応食（中華料理）の特徴 実習8（中華料理） 実習9（中華料理） 実習10（中華料理）	・中華料理について、応用的な料理の技法と献立作成について理解し、実習を通して目的や条件に応じた調理ができる。
2 学期中間試験		
調理の基本	調理と食味 調味 官能評価 特別実習（外部講師による）	・調味には、加える量や時期があり、それが調理のおいしさを左右することを理解する。  ・専門家の技術を見て学び、実際に体験することで調理技術向上を目指すことができる。
調理の種類と献立	実習11（幼児食） 実習12（クリスマス料理） 実習13（正月料理）	・ライフステージ別にみた調理をすることができる。 ・簡単な行事食の調理ができる。
調理の種類と献立	「自由献立」にむけて献立作成 実習14（自由献立）	・1年間の実習の集大成としてテーマに沿った献立を作成し、調理が出来る。
卒業試験		

